

風車 (かざぐるま)



～万葉テラスだより～ 令和4年10月 第65号

朝夕涼しくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。9月に万葉テラスで行ったイベントの紹介と、理学療法士による「大腿骨骨折について」を掲載しておりますので、ご参考にいただければ幸いです。

～イベント紹介～

4Aフロアのイベントは、コロナ感染拡大防止のため中止いたしました。4Iフロアにおいては、9月16日（金）に2ヶ月ぶりとなる誕生日会を行いました。今回は、8月と9月に誕生日を迎えられた利用者様のお祝いしました。

まず、レクリエーション時に行っている体操と歌体操をした後、利用者様の紹介と誕生日プレゼントの贈呈・写真撮影をしました。

イベントは、おやつレクと敬老の日のお祝いをしました。利用者様一人一人への小皿にお煎餅や最中などのお菓子類を取り分け、おかわりも自由にできる形で行いました。早速、目の前に取り分けられたお菓子を頬張られる利用者様もいらっしゃいました。皆様、普段食べることのないお菓子に大変喜んでくださいました。「このお菓子美味しい!」「もっとないんか」と、利用者様同士で会話も弾んでいました。



最後に、先月は新型コロナウイルスの影響でお誕生日会の実施が出来ませんでしたが、ようやくフロアも落ち着き、8月の誕生日の皆様もお祝いすることができました。シルバーウィークを前に、一足先に敬老の日のお祝いをさせていただき、充実した時間を過ごされていたように思います。

●お知らせ●

当施設にて新型コロナウイルスのクラスターが発生し、利用者様、家族様におかれましては、大変ご心配とご迷惑をおかけいたしました。9/13(火)より、リモート面会を再開しております。

ご希望の際は、当施設事務所にご連絡ください。ただし、今後の感染状況によっては、急遽リモート面会が中止となる場合がございますのでご了承ください。



大腿骨骨折について

高齢者に発生する骨折で頻度の高いものが大腿骨骨折です。転倒や転落等で発生し、股関節周囲の疼痛により立ち上がったり歩くことが出来なくなります。骨折部位により関節包より内側で骨折する内側骨折と関節包の外側で骨折する外側骨折に分かれます。関節包の外側は血流がよいため骨癒合しやすいですが、内側は血流が乏しいため折れた骨はなかなか癒合しません。そのため治療法が異なります。

治療法



① 手術療法

大腿骨骨折は、さまざまな問題を引き起こします。痛くて歩けないために寝たきりの状態であると、褥瘡や尿路感染症、肺炎、認知症などを発症する可能性が高くなります。また体を動かさないと、関節拘縮や筋力低下などが起きるために、たとえ骨が治ったとしても歩けなくなってしまう場合があります。実際の統計では、自分で歩いていた人の約3分の1が歩けない、または、介助で歩けるという状態になってしまいます。したがって特に高齢者の場合、全身状態が良ければ手術を行い早期に体重をかけられるようにして、リハビリを開始することが望ましいと考えられています。手術は、観血的整復固定術、人工骨頭置換術などがありますが、どの手術にするかは骨折のタイプによります。



② 保存療法

●骨のずれがほとんどない、若い方の場合

骨が癒合する可能性が高く、数ヶ月間寝たきりでいてもそれほど大きな問題が起きない場合です。ただし内側骨折は骨折部の血流が悪いため骨が癒合せずに偽関節になったり、折れた骨が壊死したりする可能性があります。

外側骨折の場合、安静を保っていれば骨は癒合します。通常3~4週間程度で多少動かしても骨がずれなくなり、2~3ヶ月程度で体重をかけて歩く練習を開始します。

●全身状態が悪い場合

手術や麻酔は体にかかなり負担がかかります。全身状態が悪いため、寝たきりでいる危険性より手術をする危険性の方が高いと判断される場合には保存療法を選択します。

内側骨折の場合、基本的に骨が癒合することはありません。したがって足に体重をかけることはできませんが、あまり痛みなく車椅子に座っていることは可能です。

場合によっては良い方の足に体重をかけて立つことができることもあります。痛みが落ち着き次第できるだけ早く車椅子に移って寝たきりを防ぐことが重要です。

リハビリ室

理学療法士 中西 周次郎



〒634-0832 奈良県橿原市五井町 247

介護老人保健施設 万葉テラス

Tel : 0744-26-2288 Fax : 0744-26-2277

入所 100 床 (全床認知症専門棟)

